

えほんのおへや通信



2014年6月1日(日)発行 サンガこども園

昨年の梅雨入りは6月10日頃でした。今年はどうでしょうか。本来、季節の明確な境目はなく、梅雨も基本的には同じです。曇りや雨の降る日が続く時期が次第に多くなったりして、いつの間にか梅雨に入ります。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」6月号の紹介。

こどものとも 0.1.2

10ヶ月～2歳向き

「くまさん はい」

長野ヒデ子作

「くまさん くまさん てをあげて」「はい てをあげて」「くまさん くまさん あし あげて」「はい あし あげて」……女の子の呼びかけにくまさんが答えながら、女の子の動作を真似て遊びます。



こどものとも 年少版

2～4歳向き

「ゆっくりのんのちゃん」

わたりむつこ 作 / でくねいく 絵

カタツムリののんのちゃんとカエルのぴんとくんは、テントウムシのてんでんおばさんの家にお茶によばれました。ゆっくり進むのんのちゃんに対して、「ぴよんぴよこ」跳びはねていくぴんとくん。のんのちゃんのペースに合わせられず、ぴんとくんは先に跳んでいってしまいますが……。



こどものとも 年中向き

4～5歳向き

「あめのひのホネホネさん」

にしむら あつこ 作・絵

ホネホネさんは雨が降って喜ぶカエルくんたちに手紙を届けます。かたつむりのツムコさんがカフェでパーティーを企画、ホネホネさんに招待状の配達をたのんだのでした。



こどものとも

5～6歳向き

「まげすけさんと しゃべるどうぐ」

太田大輔 作・絵

まげすけさんは江戸の髪結い。大事に扱っていたどうぐたちが、ある日突然しゃべりだした！しゃべるどうぐを連れた髪結いはたちまち町で評判になりますが、見世物小屋のよくばりわるべえがなにやら企んでいる様子……。



ちいさなかがくのとも

3～4～5歳向き

「おはな こちょこちょ」

多田多恵子文 / 平野恵理子絵

庭やプランターの花をこちょこちょ。あ、指に粉がついてきた！ 虫たちも花をこちょこちょしているよ。



他にこんな絵本も購入しました。

「ほうれんそうは ないています」

鎌田 実/作 長谷川 義史/絵

5歳から



ポプラ社

ぼくらは生まれてきて、大きくなって、『いただきます!』を楽しみに待っていたんだ……。とつぜん断ち切られた、ほうれんそうたちの想いとは……。原子力発電所の事故でうまれてしまう、哀しみ痛みの深さは底しれない。今も未来も子どもたちを泣かせたくない、守りたい、医師・作家である鎌田実と、絵本作家である長谷川義史。がちりタッグをくんで、ふたりいっしょに、今こそどうしても伝えたい届けたい、強く熱いメッセージ。

※年齢は目安です。

【雑感】

ネットは一つ間違えば凶器にもなる怖い道具、ネット上に飛び交う情報もさまざま、こちらの良心と良識次第の道具なのです。今やあらゆる作業がネットがなければ仕事にならない時代になってしまいました。

携帯やスマホも同じです。電話というよりすでに、小型の万能機器です。わずか10年ほど前までは、通信手段だったのに、今は携帯やスマホさえあれば、手のひらの上で仕事をすることができます。この便利な万能機器を持たない私ですが、何の問題もありません。「ソナモノ」にしばられるのがいやだからです。

